

地域学習のあり方について

現在小中高で行われている地域学習において、一方的で生徒の主体性を阻むような学習形態であることが課題として考えられる。そのため、地域に対する興味関心が低く、結果として記憶に残らず、何を学習したのか思い出すことができなくなってしまう。そこで、どのような地域学習であれば生徒の主体性を促し記憶として残るのか、いくつか事例を紹介しつつ地域学習のあり方について考察していきたい。

まずは私が実際に行った地域学習について紹介する。

事例① 長野県長野市：「長野飛行場跡地の歴史を知る」

私の地元である長野県長野市の中学校では長野飛行場の跡地の見学、歴史を学ぶという地域学習があった。現在中学校が建っている場所を含めた周辺一帯には、昔、太平洋戦争における長野空襲の被害に遭った長野飛行場が存在していた。そのため、中学校では、地元住民の方を講師として招き、当時の周辺被害の状況などを説明して頂き、生徒だけでなく教師も同じ立場として学ぶという学習形態をとっていた。長い間地域と深く関わり、実際に体験した方からのお話であったため、より詳しくリアルな声を聴くことができ、地元地域を身近に感じる事ができた学習であった。現在は、当時の滑走路は道路として残っているが、周辺は建物が立ち並んでいるため、一目見ただけでは跡地とは分からない。そのため、学習をするまでは全く意識することがなかったが、学習をきっかけに地元についてもっと目を向けてみようと思うようになった。



次に、文部科学大臣表彰を受けた長野県内校の地域学習の事例を二つ紹介する。

事例② 長野県小布施町：「子ども教室」

二つ目は、長野県小布施町の事例について紹介する。小布施町の小学校では、「子ども教室」を通して心豊かでたくましい子どもたちを育むために仲間づくりや地域づくりを行っており、6年間を通して一つ一つの活動が多面的に関連するようにプログラム作りをしている。地域住民から田植えを教わったり、おぶせ能といわれる小布施町の伝統芸能を身に着けて発表するなど地域の団体と協働して行われている活動が多く、継続的な地域とのつながりを大切にしている。また、このほかにも1年を通してキャンプやお泊り会、通学合宿といった様々な活動が行われており、卒業した大学生や中高生も積極的にそれらの活動に参加し、小学生をリードする姿も見られている。その結果、大学生、中高生が小学生の活動をボランティアとして支えるという循環型の仕組みができた。活動を実施するにあたって、子供たちが主体性を発揮できるように話し合いの場を設けたり、準備や片付けなども子供たち自身でやれるような仕組みにすることでいいとこどりにならないような工夫をしている。



事例③ 長野県大町市：「八坂学校協働隊」

大町市立八坂小学校、中学校では、「八坂学校協働隊」という活動名で20代～80代の地域住民がボランティアとして地域学習の支援をしている。具体的な活動内容としては、協議会委員、地域住民、保護者、教師、小中校生が集い、グループに分かれて八坂小学校、中学校の学校づくりについて熟議を行い、課題解決に向けて協議するというコミュニティースクールを開催している。そのなかで児童は、地域住民の方への取材、情報整理、発信などを行うことで地域への愛着を深め、学校と地域住民の結びつきも深めている。また、ボランティアの方にも自主的に活動に参加してもらうために、子供たちが課題解決する姿を見守ってほしいと思えるような呼びかけ、取り組みも行っている。



まとめ

これらの事例から地域学習とは、一方的でただ話を聞くだけの学習ではなく、生徒が実際に体験したり地域住民と直接コミュニケーションをとるなど、地域と密接に関わることができるような学習形態であることが望ましいと考えられる。それにより、生徒自身が地域住民として地域社会に参加しているという実感を得ることができるとともに、体験によって楽しさや面白さを感じることで生徒の興味関心を引き出し、自主性を育むことにつながる。その結果、価値ある学びとして記憶に残る地域学習になるのではないか。また、このような学習を行っていくためには、学校は地域住民と一時的ではない深い関係を築き、生徒を支援するために協働していく必要がある。学校と地域間で協働関係が構築されることによって、地域住民が講師として生徒に指導する環境をつくることができ、生徒もより専門的で正しい知識を身につけることができるだろう。私はこれらが地域学習のあるべき姿であると考えている。

参考資料

- ・平成 29 年の表彰事例

[平成 29 年度地域学校協働活動事例集 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp)

- ・令和 2 年の表彰事例

[令和 2 年度地域学校協働活動事例集 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp)